



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東
コード番号 6440 URL <https://www.juki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成川 敦
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートオフィサー財務経理部長 (氏名) 南 大造 TEL 042-357-2211
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	67,435	△0.2	△1,869	—	△4,444	—	△4,550	—
2023年12月期第3四半期	67,546	△22.4	△2,870	—	△3,117	—	△4,062	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △3,946百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △864百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△153.42	—
2023年12月期第3四半期	△137.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	129,368	28,382	21.2
2023年12月期	139,304	32,370	22.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 27,406百万円 2023年12月期 31,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	△0.8	△1,600	—	△4,200	—	△4,200	—	△141.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) JUKI (THAILAND) CO., LTD.

除外 4社 (社名) JUKI AMERICAS HOLDING INC.、JUKI AUTOMATION SYSTEMS, INC.
東京重機国際貿易(上海)有限公司、JUKI家庭製品お客様センター株式会社

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (重要な連結範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	29,874,179株	2023年12月期	29,874,179株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	136,858株	2023年12月期	325,926株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	29,661,741株	2023年12月期3Q	29,477,506株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な連結範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ紛争の長期化や中東紛争の継続等の地政学リスク、資源高や世界的なインフレ等による諸コストの高騰、中国経済の回復遅延や投資活動の抑制、新興国における外貨不足など、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方、AI/IoT/5G/VR等技術革新の加速や、市場/顧客の変化に対応した新しいビジネスモデル/経営基盤の構築が求められております。

当社を取り巻く事業環境は、今年度の前半は欧米での需要回復の遅れや新興国における外貨不足による設備投資の先送りが継続する一方、年間ではインド以西、中南米、東欧、アフリカなど成長する経済圏における設備投資需要の拡大が見込まれます。

このような事業環境の中、当第3四半期連結累計期間は、縫製機器でアジア・中国の売上が回復し、円安のプラス効果もあったことから、売上高は674億3千5百万円(対前年同期比0.2%減)と前年並みとなりました。

営業利益は、一部マーケットが回復したことや、売上平準化(*)等により利益率が改善したことに加え、平均為替レートが前年同期比円安で推移したことなどにより営業損失は18億6千9百万円(前年同期は28億7千万円の損失)と前年同期比10億円改善しました。

経常利益は、9月末為替レートが143円と6月末(161円)対比大幅な円高となり多額の為替差損が発生したことを主因として経常損失は44億4千4百万円(前年同期は31億1千7百万円の損失)と前年同期比13億2千7百万円拡大しました。

一方、将来のスリムで高効率な事業構造を構築するため、海外拠点の効率化を進めてまいりましたが、当四半期までに中国工場閉鎖、中国、米国、タイにおける販売会社の統合等を完了し、固定資産売却益等特別利益17億6千2百万円、事業構造改革費用等特別損失9億6千5百万円を計上しました。今四半期で海外拠点の効率化はほぼ完了しました。これにより親会社株主に帰属する四半期純損失は45億5千万円(前年同期は40億6千2百万円の損失)となりました。

*「売上平準化施策」

四半期末への売上集中による、利益率減、生産コスト増、在庫増を回避するために、四半期末の売上を抑制し、中長期的な利益率の向上、生産コストの低減、在庫削減を図る施策。

(主なセグメント別の概況)

①縫製機器&システム事業

工業用ミシンの売上は、売上平準化を進める一方でベトナム等のアジアや中国での売上が回復し始め、また成長市場であるインドでの売上が伸びたことから縫製機器&システム事業全体の売上高は443億7百万円(対前年同期比5.3%増)と増収になりました。

利益面は、売上増、円安や売上平準化による利益率の向上などにより、前年同期比は6億8千7百万円改善しセグメント損失(経常損失)は22億4千2百万円の損失(前年同期は29億3千万円の損失)となりました。

②産業機器&システム事業

産業装置の売上は、米州は増収ながら主に中国の売上が伸び悩み前年同期比減少しました。また、国内を中心とした受託加工等のグループ事業の売上も前年同期比低調に推移しました。この結果、産業機器&システム事業全体の売上高は229億1百万円(対前年同期比9.2%減)となりました。

利益面においては、円安や売上平準化の効果もあり、前年同期比1億5百万円改善し、セグメント損失(経常損失)は2億5千7百万円(前年同期は3億6千2百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ99億3千6百万円減少して1,293億6千8百万円となりました。負債は、借入金金が77億5千3百万円減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ59億4千7百万円減少して1,009億8千5百万円となりました。純資産は、純損失や配当金支払により利益剰余金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ39億8千8百万円減少して283億8千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の連結業績予想につきましては、経常利益が主に為替差損の影響により12億円減少し42億円の損失となる見通しとなりましたので、前回公表値(8月7日)の見直しを行い、売上高940億円、営業利益△16億円、経常利益△42億円、親会社株主に帰属する当期純利益△42億円に修正しております。

売上高は、アジア・中国等一部地域で売上が回復したものの、欧州市場の需要回復の遅れや売上平準化等により前回修正予想対比6.9%減少する見通しです。

営業利益は、一部マーケットが回復したことや、売上平準化等により利益率が改善したことに加え、第3四半期中の平均為替レートが前年同期比円安で推移したことなどにより、前回修正予想対比3億円改善する見通しです。

経常利益は、9月末為替レートが143円と6月末(161円)対比大幅な円高となり多額の為替差損が発生したことなどにより前回修正予想対比12億円減少する見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、有価証券売却益等により、前回修正予想対比2億円の減少に留まる見通しです。

なお、第4四半期につきましては、縫製機器&システム事業では、引き続き好調なアジアに加え、米国で自動車、またシューズ等ノンアパレル市場が回復してきており、産業装置では好調な米州での需要拡大が見込まれます。このような市場回復に加え、売上平準化、生産調整の解消による利益率の向上等により、第4四半期単独では経常利益黒字化の見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,199	5,350
受取手形、売掛金及び契約資産	36,169	28,451
棚卸資産	56,924	56,624
その他	2,984	3,062
貸倒引当金	△498	△781
流動資産合計	102,779	92,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,136	9,764
土地	6,317	6,317
その他（純額）	6,051	6,113
有形固定資産合計	22,505	22,195
無形固定資産		
投資その他の資産	3,107	3,589
その他	11,411	11,350
貸倒引当金	△499	△474
投資その他の資産合計	10,911	10,875
固定資産合計	36,524	36,660
資産合計	139,304	129,368
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,075	7,593
電子記録債務	2,735	3,055
短期借入金	63,321	57,300
未払法人税等	481	355
賞与引当金	8	386
契約負債	791	2,314
その他	7,440	5,586
流動負債合計	80,854	76,592
固定負債		
長期借入金	19,123	17,390
役員退職慰労引当金	47	53
退職給付に係る負債	5,034	4,982
その他	1,872	1,966
固定負債合計	26,079	24,393
負債合計	106,933	100,985

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	1,894	1,798
利益剰余金	8,193	3,233
自己株式	△341	△143
株主資本合計	27,791	22,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	627	808
為替換算調整勘定	3,066	3,480
退職給付に係る調整累計額	112	184
その他の包括利益累計額合計	3,805	4,473
非支配株主持分	773	976
純資産合計	32,370	28,382
負債純資産合計	139,304	129,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	67,546	67,435
売上原価	50,117	49,175
売上総利益	17,428	18,260
販売費及び一般管理費	20,298	20,129
営業損失(△)	△2,870	△1,869
営業外収益		
受取利息	44	92
受取配当金	95	79
持分法による投資利益	195	—
受取手数料	131	67
貸倒引当金戻入益	5	4
助成金収入	90	57
その他	342	344
営業外収益合計	905	645
営業外費用		
支払利息	1,086	1,244
為替差損	—	1,832
持分法による投資損失	—	81
その他	65	62
営業外費用合計	1,151	3,220
経常損失(△)	△3,117	△4,444
特別利益		
固定資産売却益	6	1,489
投資有価証券売却益	73	85
持分変動利益	—	186
特別利益合計	79	1,762
特別損失		
固定資産除売却損	18	90
投資有価証券評価損	183	—
事業構造改革費用	102	856
災害による損失	2	18
特別損失合計	307	965
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,344	△3,647
法人税等	669	966
四半期純損失(△)	△4,014	△4,613
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	48	△63
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,062	△4,550

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△4,014	△4,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243	181
為替換算調整勘定	2,740	382
退職給付に係る調整額	△2	41
持分法適用会社に対する持分相当額	167	62
その他の包括利益合計	3,149	667
四半期包括利益	△864	△3,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△913	△3,882
非支配株主に係る四半期包括利益	49	△63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(重要な連結範囲の変更)

(新規)

当四半期連結累計期間より、JUKI (THAILAND) CO., LTD. は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(除外)

2024年4月1日付で、当社の連結子会社であったJUKI AMERICAS HOLDING INC. 及びJUKI AUTOMATION SYSTEMS, INC. は、JUKI AMERICA, INC. を存続会社とする吸収合併により、東京重機国際貿易(上海)有限公司は、重機(中国)投資有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、JUKI家庭製品お客様センター株式会社は、2024年8月29日をもって解散したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,081	25,217	67,299	246	67,546	—	67,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	742	72	814	376	1,191	△1,191	—
計	42,823	25,290	68,113	623	68,737	△1,191	67,546
セグメント利益 又は損失(△)	△2,930	△362	△3,292	57	△3,235	118	△3,117

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額118百万円には、セグメント間取引消去△69百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益188百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,307	22,901	67,208	226	67,435	—	67,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	746	76	823	363	1,186	△1,186	—
計	45,053	22,978	68,032	589	68,622	△1,186	67,435
セグメント利益 又は損失(△)	△2,242	△257	△2,499	4	△2,495	△1,949	△4,444

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,949百万円には、セグメント間取引消去73百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△2,023百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、JUKI (THAILAND)CO., LTD. を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「縫製機器&システム事業」のセグメント資産が546百万円及び「産業機器&システム事業」のセグメント資産が236百万円それぞれ増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,330百万円	2,416百万円
のれんの償却額	10 "	10 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	中国	米州	欧州	その他	合計
縫製機器& システム事業	4,494	14,734	8,729	6,401	7,072	648	42,081
産業機器& システム事業	8,720	3,894	5,054	4,499	2,876	173	25,217
その他	246	—	—	—	—	—	246
計	13,461	18,629	13,783	10,900	9,949	822	67,546

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	中国	米州	欧州	その他	合計
縫製機器& システム事業	3,947	18,437	9,755	5,883	5,434	848	44,307
産業機器& システム事業	7,897	4,075	3,645	4,937	2,219	125	22,901
その他	226	—	—	—	—	—	226
計	12,071	22,512	13,401	10,820	7,654	973	67,435

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。